加賀市長からのメッセージ　第029号　5月16日配信

昨日から本日にかけて市内山代温泉にて「北信越市長会」を開催いたしました。北信越の市長の皆様、および関係者の皆様を加賀市にお迎えすることができ、ホストシティとして大きな喜びを感じています。

開催にあたりましては、多くの皆様からご協力を賜りました。ご尽力いただいたすべての関係者の皆様、そして市民の皆様に心より御礼申し上げます。

本年は、加賀市にとって大きな節目の年でもあります。市町合併から20周年、そして今回の会場となりました山代温泉の開湯1300年を迎える記念すべき年です。その折、こうして北信越市長会を本市で開催できましたことは、大変感慨深く思います。

周知のとおり、加賀市、ひいては石川県は、昨年の能登半島地震という未曽有の災害を経験しました。被災地では今なお多くの方々が、日常を取り戻すための懸命な努力を続けておられます。復旧・復興は道半ばであり、県内全体が奮闘の真っ只中にあります。全国の皆様には、これまでの温かいご支援に心より感謝申し上げるとともに、今後も引き続き応援と激励を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

今回の市長会では、日本各地の市長の皆様と今私たちが直面する課題について率直な意見を交わしました。人口減少、少子高齢化、人手不足といった構造的な課題は、今やすべての自治体に共通する深刻な問題です。また、経済の低迷や国際的な存在感の低下といった国家レベルの課題も、私たち地方自治体が無関係ではいられない現実です。

そうしたなか、自治体同士が危機感を共有し連携し合いながら未来を考える場が必要であり、今回の市長会はまさにそのような結束の場となったと実感しています。

「地方が日本を動かす」という意識を胸に、これからも本市が地域の活力を生み出す存在であり続けられるよう、市民の皆様とともに歩み続ける所存です。

このたび加賀市にお越しいただいた各自治体の首長の皆様に改めて感謝を申し上げるとともに、今回のご縁を大切にし、よりよいまちづくりに向けて力強く進んでまいります。

(令和7年5月16日号)

加賀市長　宮元　陸